

私は将来何をしたいのか

14 年に学校を卒業し、社会人として働き始めてから、気づけば 6 年以上が経ちました。その間に、私自身も多くの経験を積み、世界も大きく変化しました。現在の状況や社会情勢を踏まえて、これから自分が何をすべきかについて考えをまとめ、皆さんと意見を交わしたいと思います。

この世界では、あらゆる業界に人々が従事しています。それぞれが異なる経験を持ち、異なる選択をします。人生には多くの偶然があり、それが人々に異なる経験をもたらします。成功に関しては、選択が努力よりも重要だと言われます。私は、これらの言葉が多くのことを語っていることに気づきました。それぞれの言葉は、一つの大きな記事になるほどです。人生は、これほど複雑です。一方で、人生はとてもシンプルだと言う人もいます。

ある人が言いました、人生とは、生まれ、学校で成長し、仕事をして家庭を持ち、子供を育て、退職して余生を過ごし、両親を見送り、子供と別れることだ。わずか一言で、長い一生の時を要約しています。

以前、私は他人がどんな生活を送っているのか、どんな経験をしているのか、どんな人なのかとよく考えていました。その後、観察し、思考することを学び、みんなが基本的に私と同じだと気づきました。この世界は、無数の内で構成されているのです。起業してユーザーを獲得するため、私は多くの友人を作りました。私は自分の仕事や起業のストーリーを共有してきました。友人たちの理解と信頼を得られたのは、私の考えが彼らがかつて考えたことと重なることが多かったです。私が経験した喜怒哀楽、さまざまな出来事は、彼らも経験したこと、または経験していることなのです。

友人たちと話していると、時には恋愛経験や家庭の話なども話題に上ります。いくつかの話は私の視野を広げてくれますが、多くの場合、私たちは似たような経験をしています。私たちは同じ世界、同じ社会を生きているのです。

私の家で起こった物語は、多くの家庭でも起こっています。私とパートナーの間に起こった物語は、多くのカップルの間でも起こっています。私に起こった物語は、多くの人々にも起こっています。

私は 19 年初めから、様々な本を読み、ドキュメンタリーを見て、何日も何週間も考え続けてきた理由を何度も説明してきました。振り返ってみると、これらの経験を通じて、私は世界に対して退屈さを感じるようになりました。多くのことを経験し、物事はどれも似たり寄ったりだと気づきました。多くの人に出会い、人々もまた似たようなものだと感じました。多くの場所を訪れ、世界のどの隅も平凡だと理解しました。

2020 年になると、パンデミックが発生し、誰もが自分のリズムと計画を乱されました。ほぼ全員がトラウマストレス症候群にかかりました——簡単に言えば、人々は全体的に調子が悪くなりました。私の 19 年間の読書と思考に基づいて、このパンデミックの日々に、私は政府を批判す

る記事を書き、もともと住宅価格が高騰し、大環境が厳しい中国経済がさらに悪化していると不満を述べました。今年、私はゴルフをしてダイエットし、記事を書き、動画を作り、結婚し、友人にプロジェクトを紹介したり、友達の手助けをしたりしました。また、将来何をするかをずっと考えしていました。

私は一種の迷い、中年に差し掛かった迷いに陥っています。この世界はこういうもの、この会社はこういうもの、この生活もこういうもの、この人生もこういうものだ。そして、私たちが年を重ねるにつれて、家族や親戚、知り合いの友人などの死を経験することは避けられません。私たちが年を取るにつれて、これらの出来事はさらに頻繁に起こるでしょう。これらの人生の重大な出来事は、それぞれの人に衝撃を与え、それが自分の一生をどう過ごすべきか、人生の意味とは何かを考え始めるきっかけとなります。

ファインマンは言いました、もしあなたが人生の意味を探し続けているなら、あなたは今を生きることができないと。誰も人生の意味を完全に理解することはできませんし、それも重要ではありません。ただ、情熱を持てることを見つけて、それを実行するだけでいいのです。

インターネット情報の発展により、私たちは多くのライフスタイル、多様な人生、そして多様な選択肢を知ることができました。しかし、これにより私たちは選択をすることがさらに難しくなっています。周りの大多数の人々と同じ道を進むべきか、それとも少数派の道を選ぶべきか。皆と違うべきか、それとも皆と同じであるべきか。そして、私たちはいつも自分自身や家族を養うために収入を得なければなりませんが、選択肢はそれほど多くないようになります。

投資家の資金を失い、苦労して取り戻した起業経験を経て、私は自分の道を選ぶ勇気がより強くなったように感じます。しかし、どの道を選んでも大差ないことに気づきました。これが人生なのです。どれだけ奮闘しても、結局は人生です。これが地球なのです。どれだけ冒険しても、やはり地球の上にいるのです。

いくつかの歴史書を読んだ後、例えば『万暦十五年』や『中国大歴史』などです。『万暦十五年』では、明朝の時代に腐敗が横行し、活気が失われていたことが語られています。首輔の申時行、大学士の張居正、役人の海瑞、將軍の戚繼光、哲学者の李贽など、皆が変革を望んでいましたが、誰もそれを成し遂げることはできませんでした。古代王朝の制度は終焉を迎えていました。その後、清朝が続きましたが、1587年に起きた出来事はすべてを予兆していました。時代は私たち誰も変えることができないものです。

もっと本を読み、より多くのことを知り、深く考えた後、やはり悩むことが多い。私たちがどんなに努力し、どんな人生を送ろうとも、結局は環境によって形作られているように思える。私たちは結局、独自の自分になることはできず、常に環境の産物なのだ。私の両親の人生がこうして展開し、私の人生もこうして展開するのは、大きな環境と密接に関わっており、改革開放と、中国の発展と深く結びついている。

改革開放がなければ、私の両親は黃埔区に来て働くこともなく、ここで20年間を過ごすことも

なかっただろう。インターネット技術の発展がなければ、私は北京の大学に進学し、その後休学して仕事を始め、起業することもなかっただろう。

この20年間、両親と私も多くのことを経験してきました。一方、私の祖父は、あまり変化のない日々を送り、ずっと農村で暮らしていました。私は世界中を駆け回り、アメリカに2回行き、中国の多くの都市を訪れましたが、祖父は一生のほとんどを農村で過ごし、家の前にある木はずっと同じ場所に立っています。

これが人生だ、これがそれぞれの物語だ。最後には、私も、祖父も、あの木も、私たちがこの20年以上にわたって経験してきたことは、実はほとんど同じだと気づいた。私がどこまで走っても、結局は地球上にいるし、彼らもそうだ。世界中を旅して初めて、世界は私が子供の頃の田舎と同じだとわかった。多くの人と出会って初めて、世界中の人々は私が子供の頃の家族の親戚と同じだとわかった。

友人が最近何をしているか、将来何をしたいかと尋ねてきたので、私はいくつかのバージョンの答えを返しました。ある日、一つの答えを思いつきました。それは、多分何かやることを見つけて、家族を養えるようになればいいということです。

以前、私はシリコンバレーの起業メンターである Paul Graham の記事を多く読み、起業して富を築く道を強く信じていました。人生は短く、基本的な生存の問題にずっと引きずられたくありませんでした。私たちは起業して数年必死に働き、その後経済的自由を実現し、それからはどうでもいい、人生を楽しむべきだと考えていました。

その考え方非常に理にかなっており、文章はとても魅力的で、洗脳されないのは難しいほどでした。そのため、私は起業することにしました。数年間奮闘し、いくつかのことを学びましたが、この道がそれほど簡単ではないことに気づきました。

この一年、私はまた別の富と自由に関する物語を耳にしました。漁師と商人の話です。漁師は昼間に魚を獲り、少し時間をかけて漁を終えると、家に帰って家族にご飯を作り、家族と過ごし、そして毎日夜遅くまで笛を吹いていました。商人がやってきて、「君が一生分の魚を獲って貯蔵する方法を考えてあげよう。そうすれば、毎日家族と過ごし、夜遅くまで笛を吹くことができるよ」と言いました。漁師は「私は今でもそんな生活をしているよ」と答えました。

この物語は、私が TikTok で見かけて、ずっと心に残っているものです。それは現代の世界に対応しており、多くの違いがあります。漁師は常に魚が獲れると仮定しています。現代の世界では、お金を安定して稼ぎ続けることができるでしょうか。彼らはシンプルな物質生活を送っていますが、私たちはそれを真似ることができるでしょうか。彼らのように、現代社会で私たちはどうすべきでしょうか。

偶然にも、現代社会でも同じようなことを実践している人々がいます。タイには Jon Jandai という人物がいます。Jandai とその家族はタイに農場を持ち、質素でシンプルな生活を送っています。基本的に衣食住は自分たちでまかない、子供たちも家で自分たちで教育しています。彼は

一年中、毎日2、3時間ほど農作業や家事に費やし、それ以外の時間は自由に使っています。彼のTEDトークは非常に人気があり、現代社会の人々に大きな衝撃を与えました。彼は、生活がこんなにシンプルなのに、なぜ人々はそれをこんなに複雑にしてしまうのかと問いかけています。

以上、色々と話してきましたが、考えるべきことはたくさんあります。個人の努力、歴史の流れ、現在の世界と環境、そして周りの友人たちの影響など。私が将来何をするかについては、本当にわからなくて、1年2年と断続的に考えても、まだはっきりしません。以前の日々が懐かしくさえ感じます。あの頃は目標がシンプルで、ただやればよかったのです。学校では宿題や試験、仕事ではスキルアップ、起業時は製品を作りユーザーを獲得し、損失を出したら必死に取り戻す。でも今は、投資家に返済し終え、誰にも申し訳ないことはないのに、目標が何なのかわからなくなっています。

私は以前、本当に田舎に戻り、農業や畜産を学び、別の生活を試してみたいと思った時期がありました。結局のところ、人類は何千年もそうやって生きてきたのですから。先祖の生活を体験してみるのも、この世に生まれてきた甲斐があるというものです。しかし、私は田舎で農業や畜産をして家族を養えるようになったとしても、今のように迷い続け、多くの時間を過ごすことになり、何かやることを見つけなければならないことに気づきました。

そして、妻は私と一緒に農村に戻るのが難しいです。将来の子供をどう育て、学校に通わせるかも問題です。都市からは、どうやら逃れられないようです。農業や畜産について学ぶことは、今や多くの学習資料がある時代ですから、学びたいと思えばきっと習得できるでしょう。ただ、田畠を耕し、野菜を育て、豚や鶏を飼って自家消費するのは、それほど難しくないはずです。これは私の最後の手段として考えておくべき道です。

それなら、まずは都市で生き延びましょう。起業しなくてもいいですよ、仕事を見つけるのはまだ簡単ですから、とりあえずやってみましょう。

健康こそが人生の第一の重要事であると認識し、経済的自由がそれほど容易ではないと悟った後、私も独自の人生のアルゴリズムを考え出しました。現在25歳の私は、まず35歳まで生きると仮定します。健康で35歳まで生きられたら、次は45歳まで生きると仮定します。このように続けていきます。もしも命が残り10年しかないとしたら、どう過ごすかを真剣に考えます。さらに慎重になるなら、命が残り5年しかないとしたら、どう過ごすかを真剣に考えます。これは非常に現実的な問題であり、客観的で理性的な思考です。

私の考えは年々変化しています。長期的なことをやり遂げることはできないと認めざるを得ません。私は、数年後の目標を立ててそれに向かって努力するタイプの人間ではありません。これまで、自分の現在の信念に基づき、周りの環境や自分の能力を考慮して、自分自身の成長と発展に最も役立つことを行ってきました。

この道のりで、私はお金をそれほど重要視していませんでした。十分に使えればそれでいいと思っています。確かに、経済的自由を手にした人々や、周りで仕事や起業がより成功している友

人たちを羨ましく思うこともあります。しかし、私の自由と比べると、富などはそれほど重要ではないようです。私は自分が好きではないことをしたくありませんし、富や他人の期待のために、心から認められないことをするのは嫌です。もし生活が私に嫌いなことをすることを強制しなければ、私はそれをしません。だからこそ、私は僕約する生活を学び、無欲無求を学びました。物質的なもののために自由を犠牲にしたくないです。

清貧な私にとって、友達はますます少なくなり、家族も私に耐えられなくなるかもしれません。私は家庭が小康状態で温飽できる生活を送れるよう、努力して責任を果たしますが、豊かな生活を提供することはできません。私が言っているのは、広州で家庭が月に1万元以内の生活費で暮らせるよう、私は努力できるということです。しかし、1万元以上の生活を提供することはできません。なぜなら、私の自由を犠牲にしてまで、必要のない物質を得ようとは思わないからです。

しかし、フリーランスとして自分でプロジェクトを手掛けたり、友人にプロジェクトを紹介したり、コースを販売したりして、10数万元を稼いだ後、一年の残りの時間を何に使うのでしょうか。やることがないなら、経済がまだそれほど悪くないうちにできるだけ多く稼ぐべきではないでしょうか。あるいは、お金を稼ぐことを考えるとき、最善の方法を考えるべきではないでしょうか。

家に住む家があるということは、確かに私に少し余裕を持たせてくれます。義母の目を気にして多額の住宅ローンを背負い、会社で20年間しっかり働かなければならぬという状況にはなりません。もちろん、そのように集中して仕事と生活を送るのも、なかなか良いことのように思えます。

もし私たちが未来20年の世界がどのように展開するかを大まかに予測できるなら、今日の選択は容易になるのではないでしょうか。世界はどのように変わるのか？私は何に参加すべきか？私は何に参加できるのか？どのようなことが長期的に取り組む価値があるのか？何を積み重ねれば、社会にしっかりと根を下ろすことができるのか？未来の人々のニーズを満たすためには、どのようなスキルを学ぶべきか？

しかし、時にはこうも考えます。古代の人々が未来を全く予測できなかつたように、百年前の人々もその後の百年を予測できなかつたように、個人として私たちもやはり小さな存在であり、世界や社会を変えることはできません。私たちにできるのは、自分自身をしっかりとすることだけです。通常、傑出した科学者、起業家、政治家たちも、個人としての彼らは、科学技術や大衆の影響力を借りて歴史に名を残すだけです。正直なところ、今日では過去の人々を気にかける人はほとんどおらず、皆が気にするのは自分がどう生きるかです。未来の人々も私たちを気にかけず、彼らが気にするのは彼ら自身がどう生きるかです。

第一次世界大战や第二次世界大戦の時代に、誰かが山奥に隠れて世の中の争いに関わらず、戦争や革命に参加しないでいるのも、それはそれで良いことだと思います。私はよく考えます、も

し世界に私一人しかいなかつたら、どうやって生きていくのだろうか？もし私が現代のすべての便利な施設がある小さな島に来たら、どうやって生活するのだろうか？

私は、未来を心配しすぎないこと、この社会で生きていけないと心配しすぎることに気づきました。結局のところ、誰もが生きていかなければならないのだから、何を恐れる必要があるのでしょうか。以前、困難な時期を乗り越えてきたのだから。私は大金持ちになる必要もなければ、高級車や豪邸も必要ありません。ただ、自分と家族を養うための食事ができればいいのです。例えば10年後、私はまだ私であり、私の能力や人脈も変わらないでしょう。それでも生きていけないわけがないでしょう。これは実際、大きな環境と密接に関係していることに気づきました。2010年から2017年までは、普通のエンジニアでも良いインターネット関連の仕事を見つけることができました。しかし、2018年から2020年にかけて、多くのエンジニアが失業し、大都市を離れたり、他のことに転向したりせざるを得なくなりました。

今回のパンデミックは、私たちの生活がどのように大きな環境に影響されているかを認識させてくれました。しかし、パンデミックがないときでも、私たちの日常生活は依然として大きな環境に影響を受けています。国家はどのように経済を発展させているのか？国家は人々のお金をどこに投資しているのか？国際政治はどうなっているのか？国際貿易はどうなっているのか？どのような技術が人々の間で流行しているのか？

大環境が良い時は、私たちの能力が低くても、お金を稼ぐことができない心配はありません。大環境が悪い時は、私たちの能力が強くても、あまりお金を稼ぐことができません。これは、14年や15年にWeChatビジネスや公式アカウントをやっていた時、頑張れば月に10万円稼げたかも知れないのと同じです。しかし、20年になると、最初の月にやっと2、3千円稼げる程度です。私たちのお金は、周りの友人から、ターゲットユーザーから、周りの一般の人々から稼ぎます。どれだけ稼げるか、稼ぎやすいかどうかは、彼らの状況、彼らがうまくやっているかどうか、彼らが何を必要としているか、そして将来何を必要とするかに大きく依存し、私自身の努力はそれほど重要ではありません。だから、雷軍は、流れに乗ることが重要だと言ったのです。

大環境とは何か。大環境とは、まず第一に私の家族がどのように働き、生活しているかということです。次に、私の親戚がどのように働き、生活しているか。そして、私の友達がどのように働き、生活しているか。さらに、ネット上の友人や近所の人々がどのように働き、生活しているかということです。

世に隠れるのはなかなか難しいことです。物理的な世界では、家族や親戚、友人と交流します。インターネットの世界では、WeChatやTikTokが私たちの価値観に影響を与えます。私たちは周囲の人々に影響されずにいられるでしょうか？インターネット上の精神的なアイドルに影響されずにいられるでしょうか？

私たちの体についてもう一度話しましょう。人間の体は、高価なスキンケアで顔を美しく保つても、腎臓や胃、心臓に問題が生じることがあります。手足が健康で強靭でも、頭に問題が生じ

ことがあります。豪邸やスポーツカー、成功した事業を持っていても、体に問題が生じことがあります。浄水器を使って純粋な水を飲んでいても、たくさんのお菓子を食べてしまうことがあります。体が健康でも、感情に問題が生じ、落ち込んだり、うつ状態になったり、怒りっぽくなったりすることがあります。

だから、幸せを保つことは難しいように思えます。体は複雑ですが、それこそが最も重要で、私たちの人生を支配しています。だから、物質的な生活はそれほど重要ではなく、成功や達成もそれほど重要ではないかもしれません。

将来何をするのか、本当に分からない。今の私は、ファインマンの言葉をより深く理解しているように感じる。将来何をするかを理解する必要はなく、成功を追求する必要もなく、世界に迎合する必要もなく、人生の意味を探し求める必要もない。ただ単純に自分自身であり、情熱を持つことを見つけ、それを実行すればいい。基本的に家族を養えるだけの収入があれば十分だ。未来がどうなるかについては、恐れることも心配することもなく、自然の流れに任せればいい。外界が自分自身であることに影響を与え、自分が情熱を持ってやっていることを止めさせようとする時には、その時々で対応し、直面すればいい。

このように、私は毎日を楽しく過ごすよう努めています。また、予期せぬことが起こることを恐れる必要もありません。なぜなら、私は楽しく生きてきたので、後悔はないからです。うん、ファインマンの言葉は本当に理にかなっているようです。では、私は何が好きなのでしょうか？私の情熱はどこにあるのでしょうか？何をしていると仕事のように感じないのでしょうか？何が本当に面白いと感じるのでしょうか？過去に私は何をしてきたのでしょうか？

閲読、執筆、思考、コードを書く？自分のプロジェクトに取り組む？ライブ配信で講義する？記事を書いたり動画を作ったりコンテンツを作成する？人と交流する？学び探求する？新しいことに挑戦する？

人の欲望は尽きることがありません。私たちは他人と比較せずにはいられないものです。もし友達が皆順調に過ごしていて、SNSのタイムラインで友達の良いニュースを見たり、家を買ったり車を購入したり、資金調達に成功したりしているのを見たら、私たちの心は平静でいられるでしょうか。重要なのは、自分が友達に劣っているとは思わないことです。彼らにできるなら、なぜ自分にはできないのか。こうした良いニュースを見て、時には友達を喜ばせ、いいねを押すこともあります。時には、驚きや羨望を感じることもあるでしょう。

目標がないと、迷いが生じ、無計画に行動してしまいます。私たちはやはり目標を持つべきであり、はっきりとした目的を持って生きるべきです。Feynman も彼なりの目標を持っていました。彼は原子爆弾プロジェクトに参加し、カリフォルニア工科大学で毎年講義を行い、アイデアを探求し、それを論文として発表しました。Feynman は、功利的な目標を持つ必要はなく、ノーベル賞を獲得する必要ないと教えてくれましたが、それでも目標を持つべきであり、その過程を楽しみ、自然の流れに身を任せて遊ぶべきだと述べています。

很多时候，做热爱的事情并不能赚钱养家。就像我写文章，这么一直写，是没法挣个生活费的。得想办法去偶尔接点广告，帮同行宣传一下。得想办法怎么把自媒体做得更好一些。尤其大环境变得越来越不容易时，当赚钱养家似乎变得越来越不容易时，哪还能想着做热爱的事情。

多くの場合、情熱を注いでいることが家計を支える収入にはならない。私が記事を書くように、ただ書き続けているだけでは生活費を稼ぐことはできない。時々広告を受けたり、同業者を宣伝したりする方法を考えなければならない。どうやってメディアをより良くするかを考える必要がある。特に、大環境がますます厳しくなり、家計を支えることがますます難しくなっているように感じられる時、情熱を注いでいることを考える余裕などない。

だから、私にお金がないときは、どうやってお金を稼ぐかを考え、心構えを調整して仕事に取り組み、一つの仕事を愛するべきです。お金を稼ぎたいと思うとき、私はどうやって長期的にお金を稼ぐかを考え、今すぐにお金を稼げることをするべきか、自分や会社がますます価値を持つようなことをするべきか、どうやって流れに乗るかを考えるでしょう。もっと多くの友達を作るべきか、将来価値を高める能力を向上させるべきか、どうやって自分を未来の世界に適応させるか、自分に何ができるかを考えるでしょう。たまたま起業の経験があるので、もう何年か奮闘して、一生の基本的な生存問題を解決し、それから迷うべきかもしれません。

今日はこんなにたくさん話したけど、まだ将来何をするかはっきりわからない。だから、歩きながら考え続けよう。ポケットにはまだ2セントあるから、心配ない。